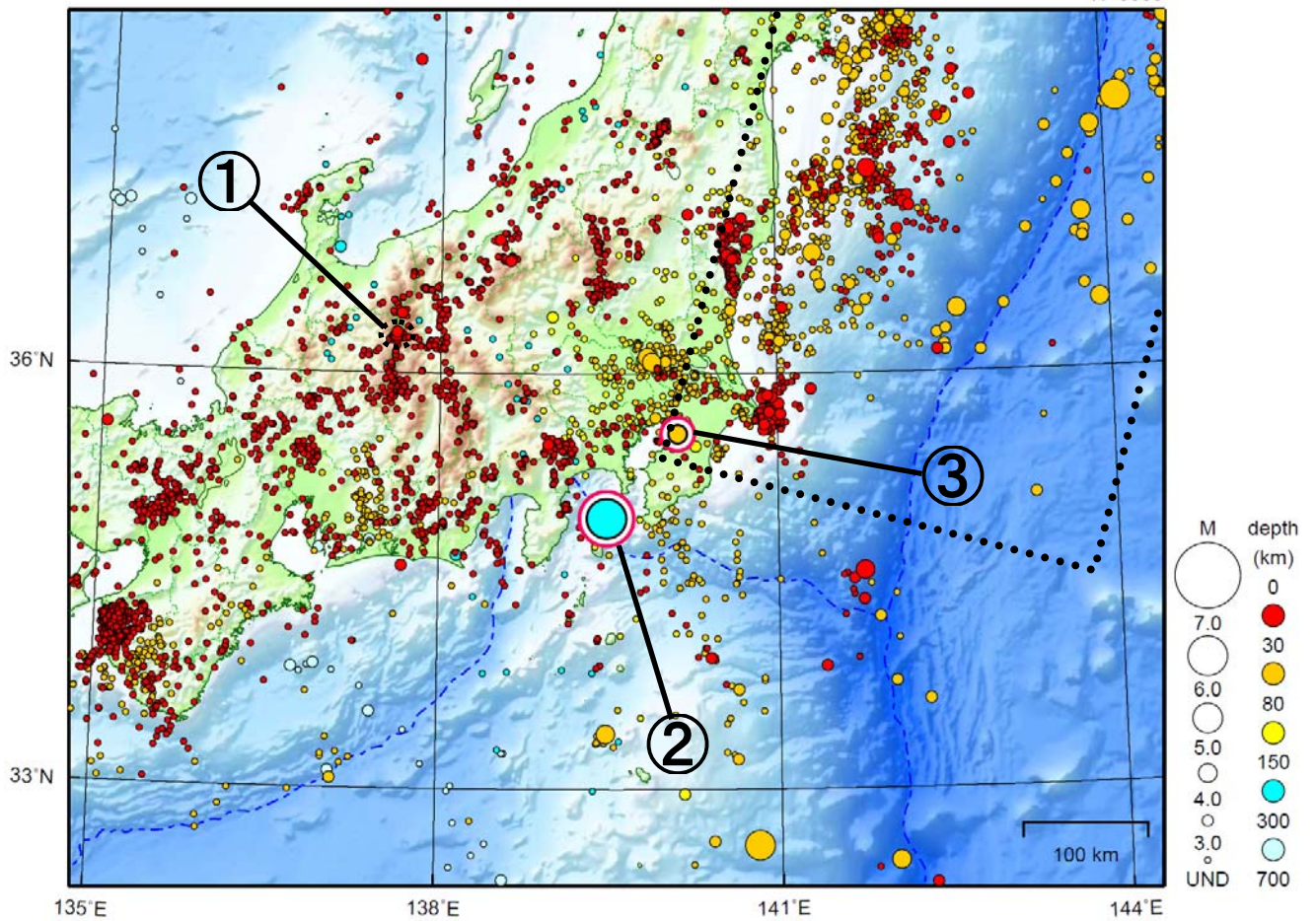


関東・中部地方

2014/05/01 00:00 ~ 2014/05/31 24:00

N=5933



※ 点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

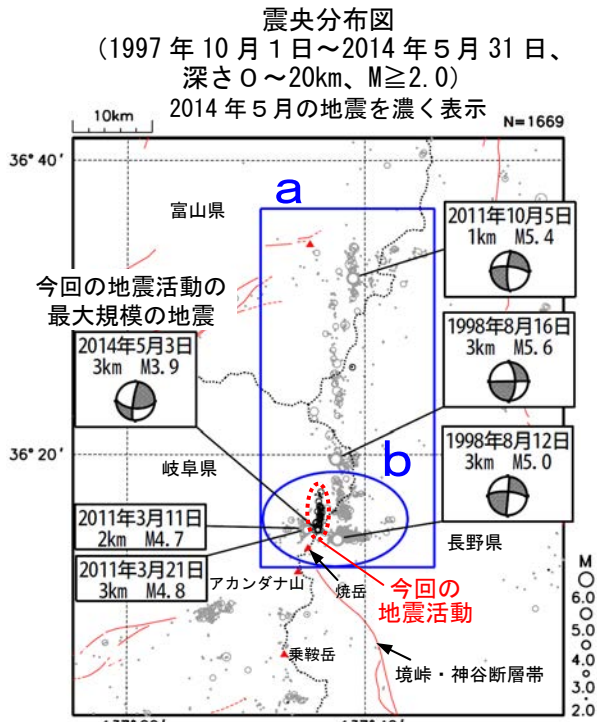
- ① 5 月 3 日から、岐阜県飛騨地方から長野県中部にかけて（岐阜・長野県境）、地震活動が活発となり、31 日までに震度 1 以上を観測する地震が 47 回発生した。このうち最大規模の地震は、3 日 15 時 26 分に発生した M3.9 の地震（最大震度 3）である。
- ② 5 月 5 日に伊豆大島近海の深さ 156km で M6.0 の地震（最大震度 5 弱）が発生した。
- ③ 5 月 13 日に千葉県北西部で M4.9 の地震（最大震度 4）が発生した。

（上図範囲外）

5 月 3 日に硫黄島近海で M6.0 の地震（最大震度 2）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

5月3日からの岐阜県飛騨地方から長野県中部にかけての地震活動 (岐阜・長野県境の地震活動)

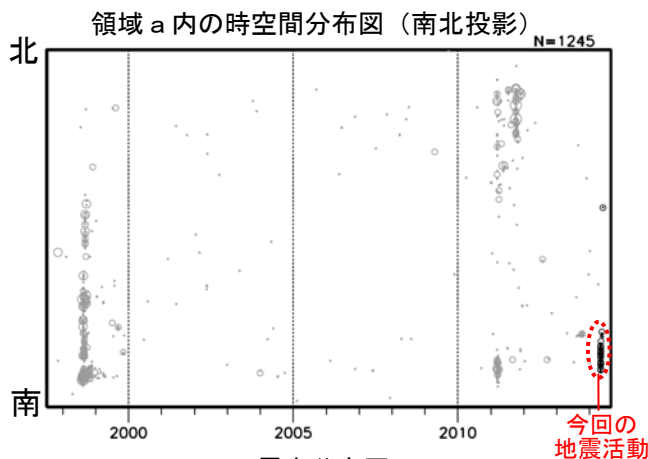


2014年5月3日10時頃から、岐阜県飛騨地方から長野県中部にかけて（岐阜・長野県境）、地震活動が活発となり、震度1以上を観測する地震が47回発生した（31日現在、最大震度3：9回、最大震度2：9回、最大震度1：29回）。この活動は5月6日以降低調である。この活動は地殻内で発生した。5月の最大規模の地震は、3日15時26分に深さ3kmで発生した $M3.9$ の地震（最大震度3）である。この地震の発震機構は北西－南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

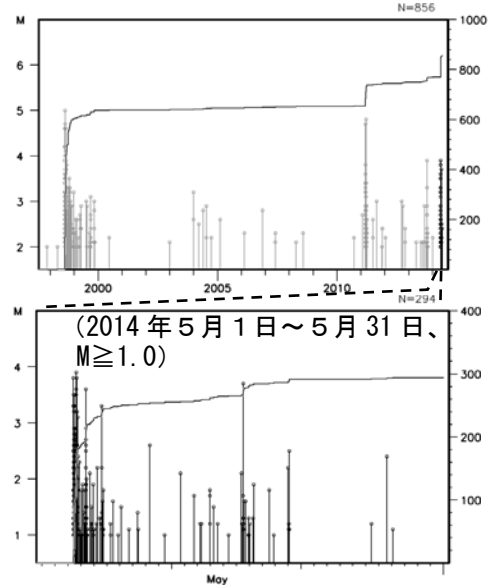
1997年10月以降の活動を見ると、今回の活動の周辺（領域a）では、1998年8月～10月（長野・岐阜県境、最大震度5弱）、2011年3月（岐阜県飛騨地方、最大震度4）、2011年10月（富山県東部、最大震度4）にまとまった活動があった。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、 $M5$ クラスの地震が時々発生している。

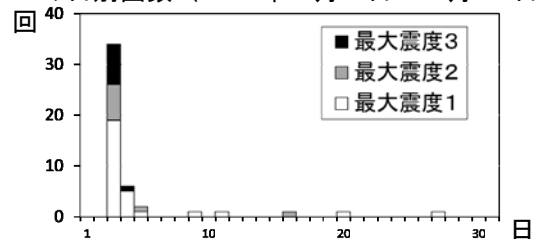
図中の細線は、地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す



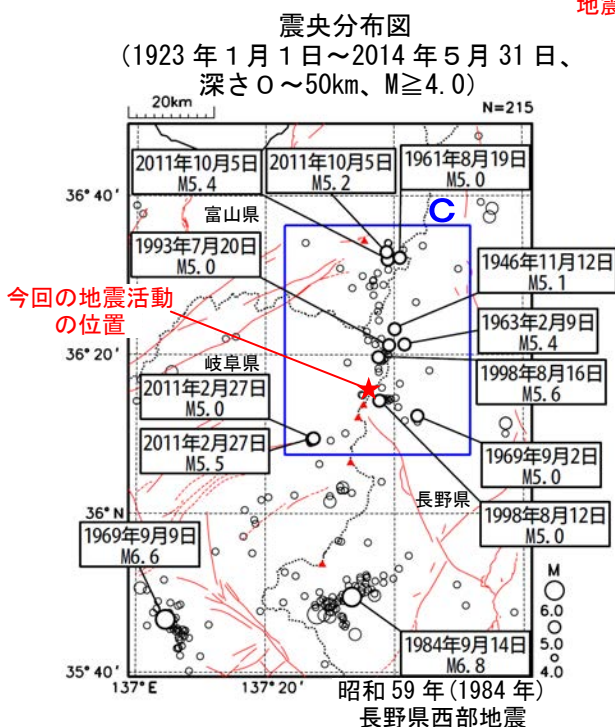
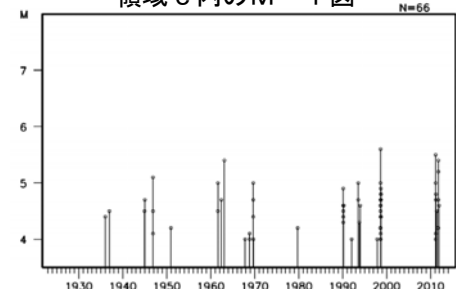
領域b内のM-T図及び回数積算図



今回の地震活動で震度1以上を観測した地震の日別回数（2014年5月1日～5月31日）



領域c内のM-T図

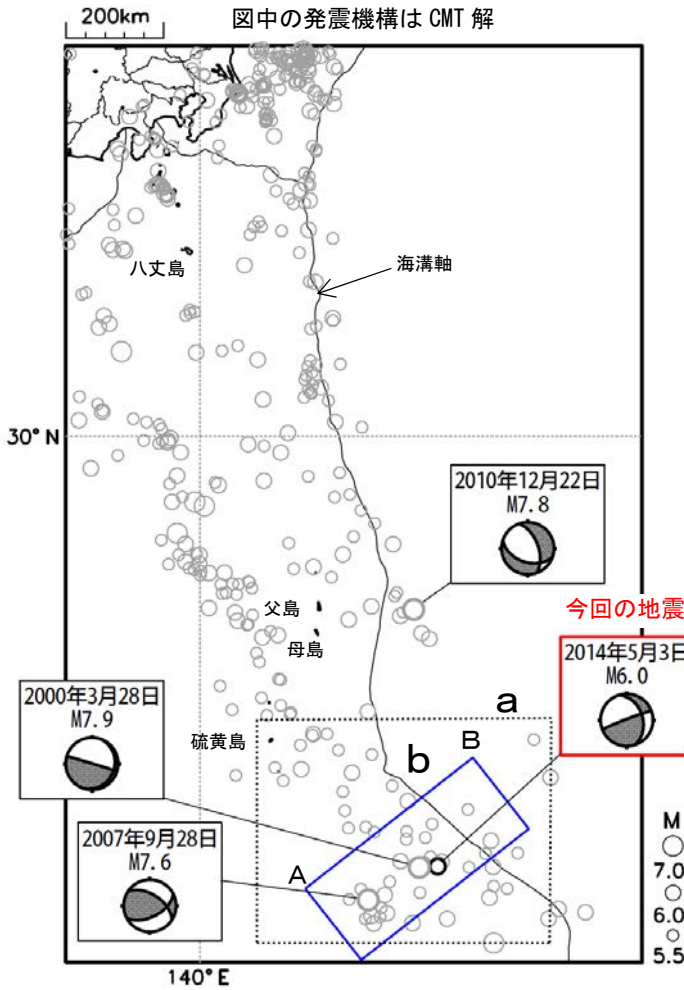


図中の細線は、地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す

5月3日 硫黄島近海の地震

震央分布図

(1988年1月1日～2014年5月3日、
深さ0～700km、 $M \geq 5.5$)
2014年5月以降の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解

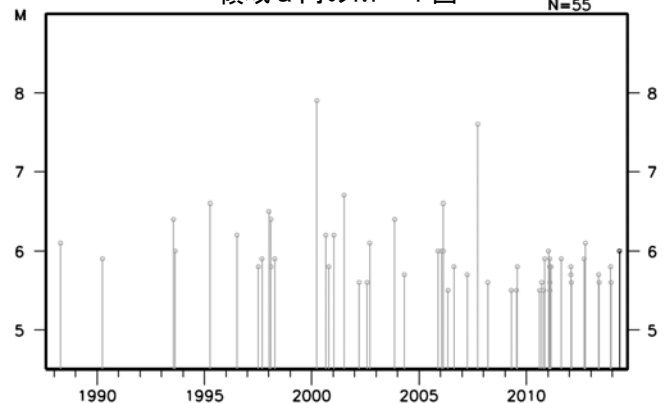


2014年5月3日19時57分に硫黄島近海の深さ107kmでM6.0の地震(最大震度2)が発生した。この地震は発震機構が太平洋プレートの傾斜方向に張力軸を持つ型で、沈み込む太平洋プレート内部で発生した地震である。

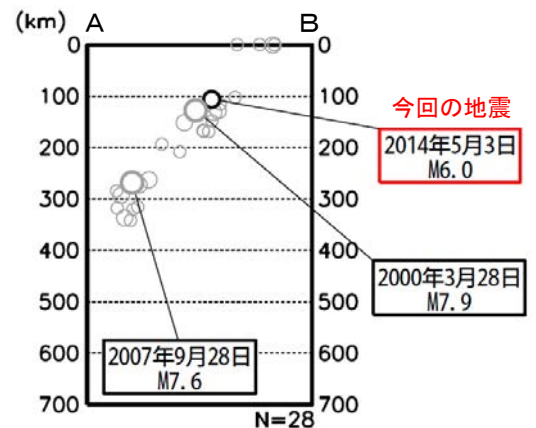
1988年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域a)では、M7.0を超える地震が2000年3月28日(M7.9、最大震度3)と2007年9月28日(M7.6、最大震度2)に発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺では、M7.0以上の地震が時々発生している。

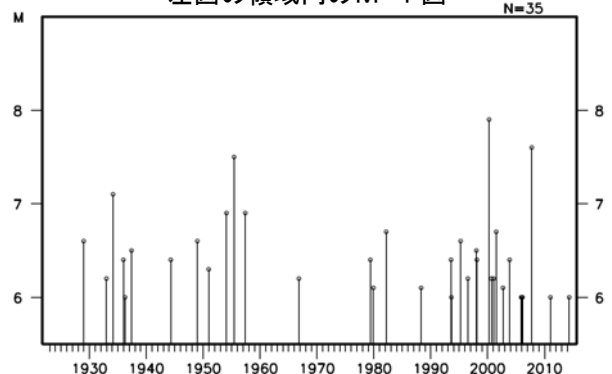
領域a内のM-T図



領域bの断面図 (A-B投影)

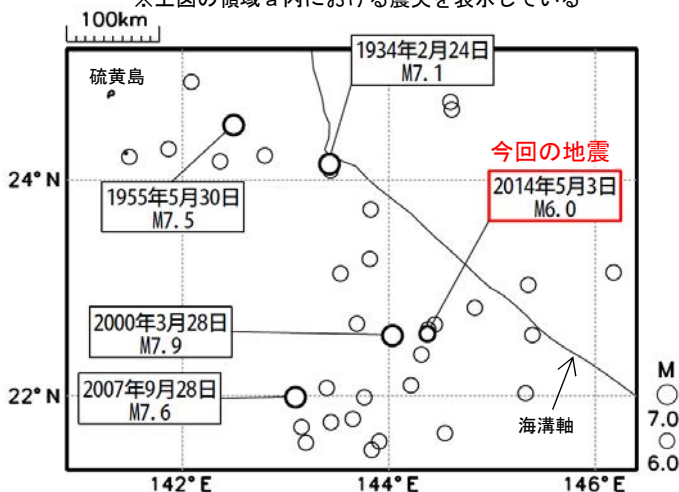


左図の領域内のM-T図

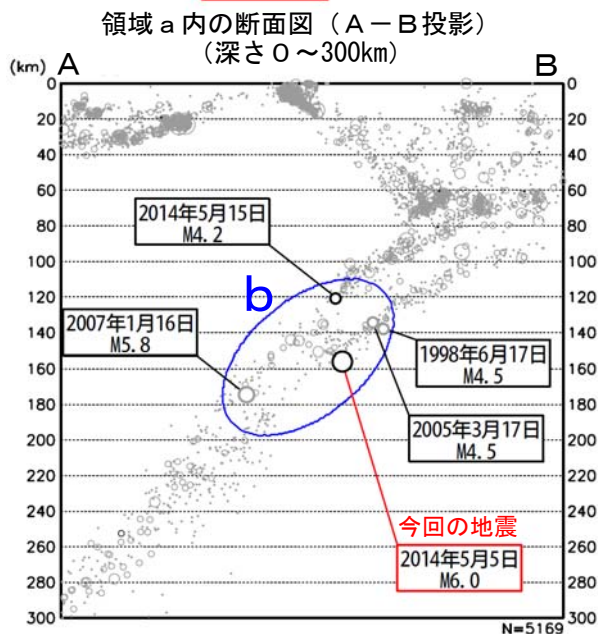
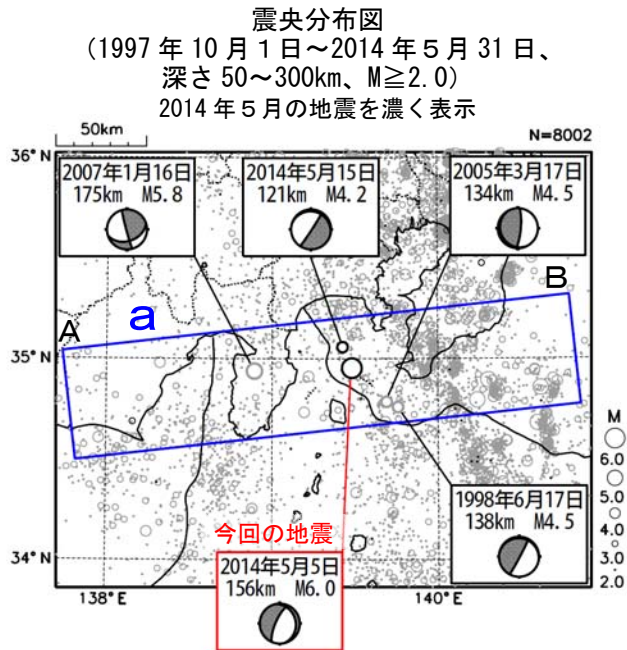


震央分布図*

(1923年1月1日～2014年5月3日、
深さ0～700km、 $M \geq 6.0$)
※上図の領域a内における震央を表示している



5月5日 伊豆大島近海の地震

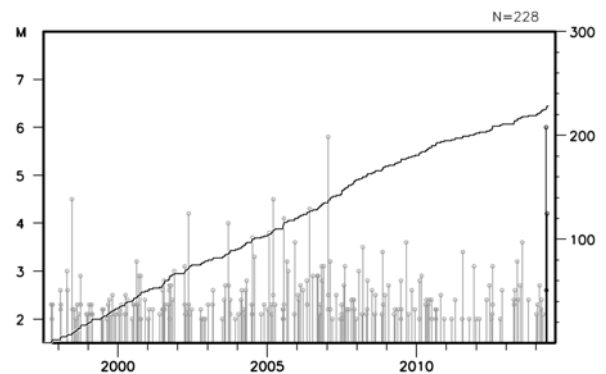


2014年5月5日05時18分に伊豆大島近海の深さ156kmでM6.0の地震（最大震度5弱）が発生した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。発震機構は太平洋プレートの沈み込む方向に張力軸を持つ型である。この地震により、東京都や神奈川県などで負傷者15人の被害が生じた（総務省消防庁による）。

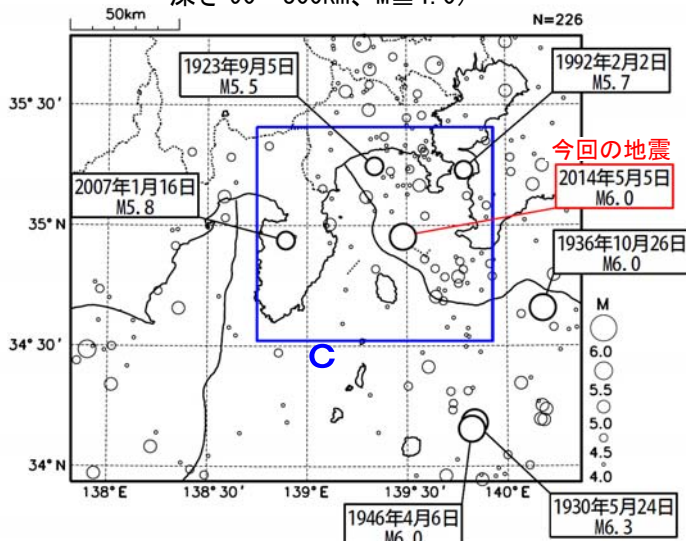
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域b）では、2007年1月16日のM5.8（最大震度3）など、M4.0以上の地震が時々発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M5.0以上の地震が時々発生している。

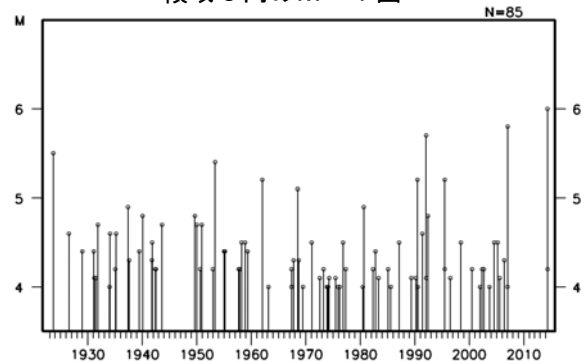
領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1923年1月1日～2014年5月31日、
深さ90～300km、 $M \geq 4.0$)

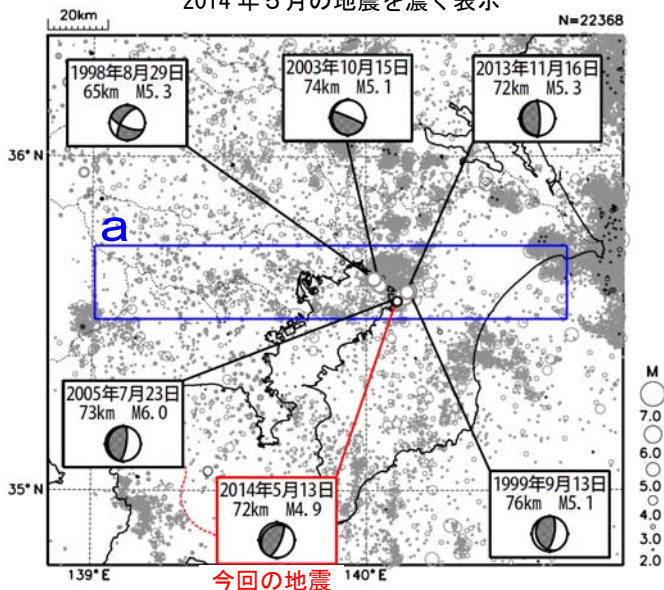


領域c内のM-T図



5月13日 千葉県北西部の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2014年5月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 2.0$)
2014年5月の地震を濃く表示

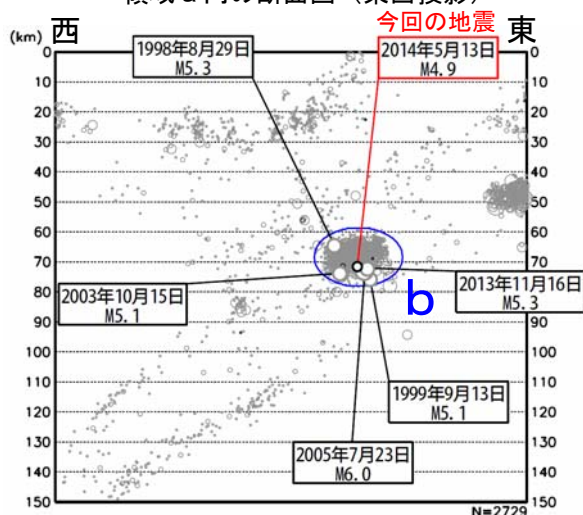


2014年5月13日08時35分に千葉県北西部の深さ72kmでM4.9の地震 (最大震度4) が発生した。この地震の発震機構は、西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

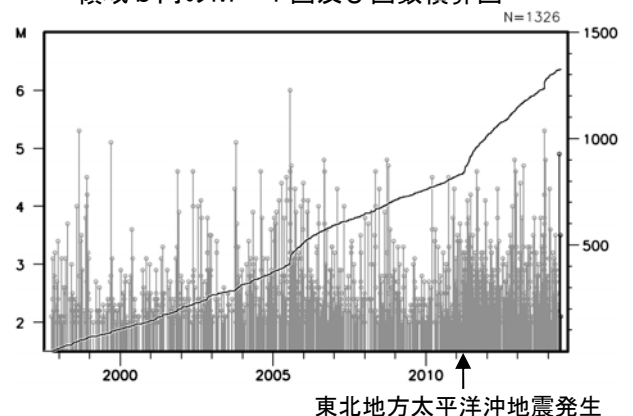
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域b) は、地震活動が活発な領域であり、M5.0以上の地震が時々発生している。このうち、2005年7月23日に発生したM6.0の地震 (最大震度5強) では、負傷者38人、住家一部破損12棟などの被害が生じた (総務省消防庁による)。また、「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」の発生以降、地震活動がより活発になっている。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、M6.0程度の地震が時々発生している。このうち、1980年9月25日に発生したM6.0の地震 (最大震度4) では、死者2人、負傷者73人などの被害を生じた (「日本被害地震総覧」による)。

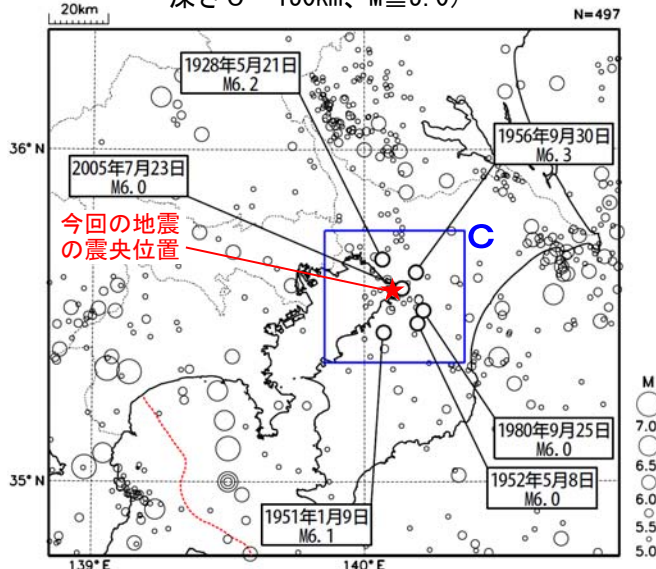
領域a内の断面図 (東西投影)



領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1923年1月1日～2014年5月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)



領域c内のM-T図及び回数積算図

